

エコアクション21 環境経営レポート

(運用期間: 2023年5月1日～2024年4月30日)



有限会社 シミズ塗装

発行日: 2024年6月7日

目次

組織の概要		P 1
実施体制		P 2
環境経営方針		P 3
環境経営目標		P 4
環境経営計画		P 5
環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標		P 6
環境経営計画の取組結果とその評価, 及び次年度の環境経営計画		P 7
当 社 の 取 組 み		P 8
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟などの有無		P 10
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示		P 11

組織の概要

1. 事業者名

有限会社シミズ塗装
2. 代表者氏名

清水文憲
3. 所在地

本社： 静岡県富士市南松野1841-1
4. 事業活動

建設業(塗装、防水工事業)
5. 従業員数

5名
6. 環境管理責任者
連絡担当者

清水正勝
清水正勝
7. 連絡先

TEL (0545)-56-3600
E-mail: shimizu-si@tx.thn.ne.jp

FAX (0545)-56-3601
8. 建設業許可

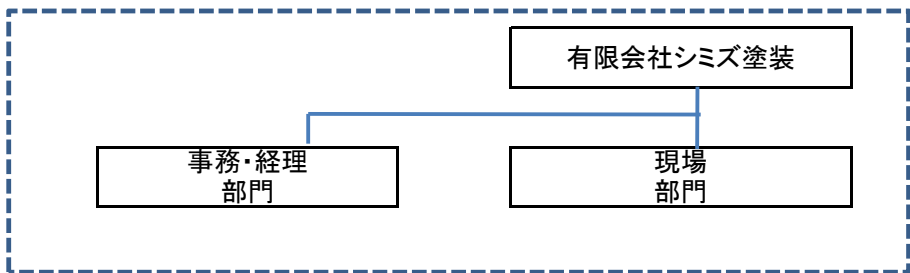
建設業
静岡県知事許可（般-2）31257号
許可業種: 塗装、防水工事業
許可年月日: 2021年1月4日
有効期限: 2026年1月3日

9. 事業の規模
- ① 設立(現在地)

1998年4月
- ② 事業規模

活動規模	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	200	210	200	200	200
従業員	人	7	6	5	4	5
本社事務所床面積	m ²	100	100	100	100	100
倉庫床面積	m ²	250	250	250	250	250
資機材置場	m ²	50	50	50	50	50

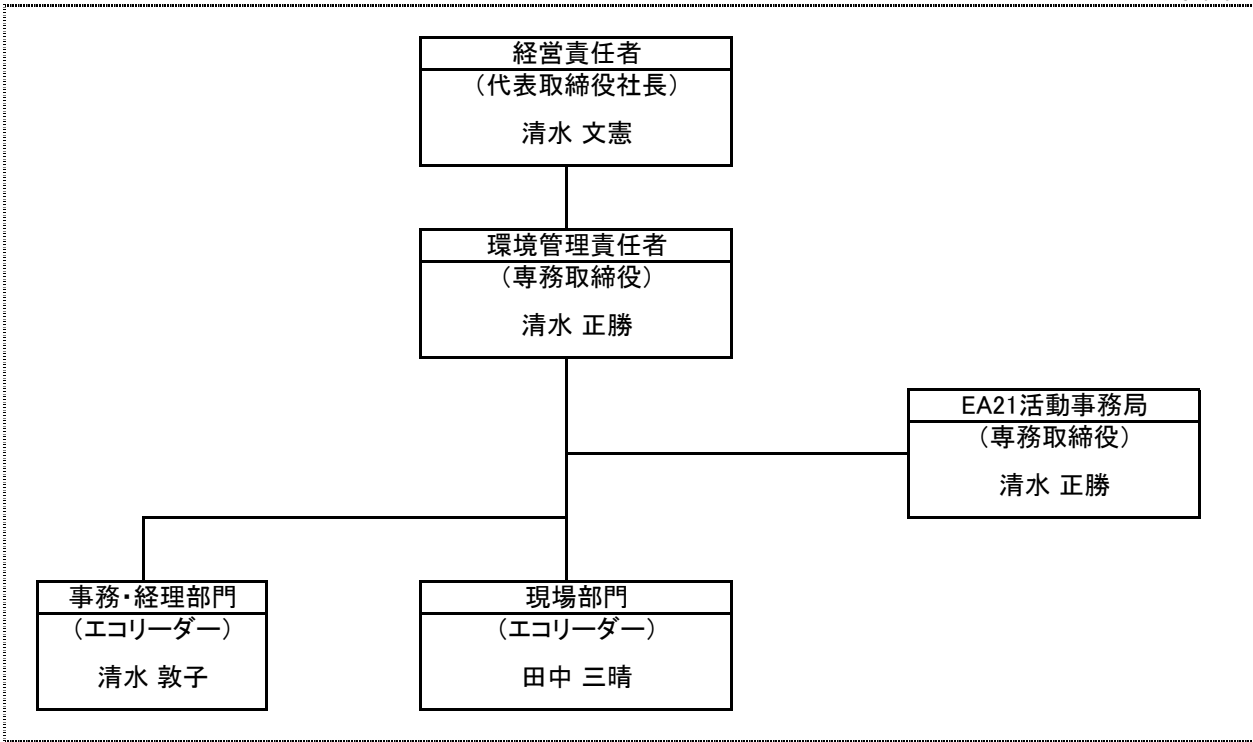
10. 事業年度
- 4月1日～翌年3月31日
11. レポートの運用期間及び発行日
- 環境経営レポート運用期間(2023年5月1日～2024年4月30日)
- 環境経営レポート発行日(2024年6月7日)
- 12 認証・登録の対象範囲
- 活動: 建設業(塗装、防水工事業)
- 対象組織: 本社(事務・経理部門、現場部門)



実施体制

作成日:2024年6月7日
作成者:清水正勝

対象範囲



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 実施体制の構築
- ⑤ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑥ 全体の評価と見直し
- ⑦ 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知
- ⑧ EA21の環境経営システムの運用のために必要となる経営資源(人・もの・資金・情報など)を用意する

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 環境経営計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 環境関連法規等最新版管理
- ⑥ 環境上の緊急事態の想定と対応策の作成。全体での試行・訓練の実施
- ⑦ 文書・記録の管理

各部門

- ① 環境経営計画の実施
- ② 月別部門データの集計・報告
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

環境経営方針

《環境理念》

当社は、有限会社シミズ塗装の社是・社訓、経営理念に基づき、本業である塗装、防水工事の事業活動を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。安全で安心していただける工事を積極的に取り組みお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

《環境方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
 - ① 省エネ活動によるCO₂削減への取組。
 - ② 廃棄物排出量削減の取組。
 - ③ 節水活動による用水使用量の削減。
 - ④ 化学物質使用量の削減(溶剤系塗料から水性塗料に変更の推進)の活動に取り組みます。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び活動経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制を遵守致します。
4. 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。
また、社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます。
- 5 上に示した環境経営を継続的に改善していきます。

制定年月日 2023年 4月1日

有限会社 シミズ塗装

代表取締役 清水 文憲

経営環境目標

1. 運用期間(2023年5月～2024年4月)及び暫定期間(2024年5月～2025年4月)の環境目標

項目	単位	基準期間 令和3年度	運用期間 令和5年度	
		2021年5月 ～ 2022年4月	2023年5月 ～ 2024年4月	
		基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	23,139	-2.5%	22,561
内訳	電力	kWh	-2.5%	4,442
	ガソリン	L	-2.5%	6,824
	軽油	L	-2.5%	1,661
化学物質使用量の削減 (水性塗料の推進)	溶剤系塗料	%	-2.5%	55.2
	水性塗料	%	+2.5%	44.5
一般廃棄物	kg	72.0	-2.5%	70.2
産業廃棄物排出量の削減	t	14.37	-2.5%	14.0
水道使用量の削減	m ³	78	-2.5%	76.1

※令和3年度を基準年度としてます

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－2023年中部電力カミライズ(株)の調整後の排出係数である0.433(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- 化学物質使用量の削減では水性塗料の推進による取組をします。

2. 中期の環境目標

項目		単位	基準年度	目標年度				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			2021年5月 ～ 2022年4月	2022年5月 ～ 2023年4月	2023年5月 ～ 2024年4月	2024年5月 ～ 2025年4月	2025年5月 ～ 2026年4月	
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	23,139	-2%	-2.5%	-3%	-3.5%	
内訳	電力	kWh	4,556	-2%	-2.5%	-3%	-3.5%	
	ガソリン	L	6,999	-2%	-2.5%	-3%	-3.5%	
	軽油	L	1,704	-2%	-2.5%	-3%	-3.5%	
化学物質使用量の削減 (水性塗料の推進)	溶剤系塗料	%	56.6	-2%	-2.5%	-3%	-3.5%	
	水性塗料	%	43.4	+2%	+2.5%	+3%	+3.5%	
一般廃棄物		kg	72.0	-2%	-2.5%	-3%	-3.5%	
産業廃棄物(混合廃棄物)排出量の削減		t	14.37	-2%	-2.5%	-3%	-3.5%	
水道使用量		m ³	78	-2%	-2.5%	-3%	-3.5%	

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－2023年中部電力カミライズ(株)の調整後の排出係数である0.433(kg-CO₂/kWh)を使用し
- 2023年度の環境に配慮した自社の取り組みは、水性塗料への変更を推進します。

環境経営計画

(運用期間:2023年5月～2024年5月)					スケジュール													
目標	区分	項目	担当者	活動項目	令和5年							令和6年						
					5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	照明	清水	① 不要照明は消灯														
				② 残業時は必要箇所以外消灯														
		空調	清水	① 温度設定夏26～28℃ 冬22～24℃														
				② クールビズ、ウォームビズ														
				③ 自然風の取入														
			清水	① 退勤時のPCシャットダウン														
	ガソリン・軽油	乗用車・トラック	清水	① 不必要なアイドリングの禁止														
				② 不必要な積み荷を無くし軽くする。														
				③ タイヤ空気圧のチェック														
				④ 過負荷、過積載の禁止														
		高圧洗浄機・吹付機械	清水	① 作業時以外エンジン停止														
				② 始業前点検														
化学物質使用量の削減	塗装・防水材料	溶剤系塗料	清水	① 塗料、シンナー使用量の集計管理の充実														
				② 溶剤系から水性塗料への変更の推進														
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	紙	清水	① 用紙は再生紙を使用														
				② 分別廃棄の徹底														
				③ 不要コピーの防止														
	産業廃棄物	廃プラ・金属くず	清水	① マニフェストの発行														
				② 混合廃棄物の分別と再資源化														
水道使用量	上水	事務所	清水	① 節水の徹底														
		現場	清水	① 高圧洗浄時節水フロート使用の徹底														

環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間(2023年5月～2024年4月)の環境目標の実績

※令和3年度を基準年度としてます

項目		単位	基準期間 令和3年度		令和4年度実施					令和5年度実施				
			2021年5月 ～ 2022年4月	2021年11月 ～ 2022年4月	2022年11月～2023年4月					2023年5月～2024年4月				
			基準値	基準値	目標 削減率	目標値	実績値	実績 削減率	評価	目標 削減率	目標値	実績値	実績 削減率	評価
二酸化炭素排出量の削減 内訳		kg-CO ₂	23,139	11,139	-2%	10,917	8,996	-19%	○	-2.5%	22,561	21,637	-6.5%	○
	電力	kWh	4,556	2,542	-2%	2,491	2,316	-9%	○	-2.5%	4,442	5,095	+11.8%	×
	ガソリン	L	6.999	3,494	-2%	3,424	2,998	-15%	○	-2.5%	6.824	7,118	+1.7%	×
	軽油	L	1,704	749	-2%	734	402.6	-42%	○	-2.5%	1,661	1,129	-34.7%	○
化学物質使用量の削減(溶剤系塗料から水性塗料に変更)	溶剤系塗料	%	56.6	56.8	-2%	54.8	29.5	-27.3%	○	-2.5%	55.2	37.6	-33.6%	○
	水性塗料	%	43.4	43.2	+2%	45.2	70.5	+27.3%		+2.5%	44.5	62.4	+43.7%	
一般廃棄物		kg	72	36.0	-2%	35.3	36	±0%	×	-2.5%	70.2	70.1	-2.7%	○
産業廃棄物排出量の削減		t	14.37	9.36	-2%	9.17	6.52	-30%	○	-2.5%	14.0	7.31	-49.2%	○
水道使用量		m ³	78	29	-2%	28.42	17	-41%	○	-2.5%	76.1	170	+117%	×

<評価>

電力	評価	年間を通して電力消費量が増加していた。特に夏と冬の増加率が高く、夏場は猛暑日が多かった事、冬は電気ヒーターの使用率が上がったことが目標未達成の原因と思われる。
	是正	夏場は積極的にエアコンを効かせて熱中症対策を講じるため、冬季の電力消費量を抑える工夫を検討していく。
ガソリン	評価	今回の運用期間は前年度の基準期間より遠方の現場が多かった事が目標未達成の原因と思われる。
	是正	現場の数、現場距離が反映されてしまうが、アイドリングストップや運行経路の確認を日々継続していく。
軽油	評価	軽油使用車両(2トラック)において今回の運用期間は前年度の基準期間より現場数が少なく遠方の現場が無いことが反映された為、目標値を達成出来ました。
	是正	現場数、現場距離が反映されてしまうが、引き続き過負、過積載の禁止の他、現場に行く前に不必要な積み荷を降ろし軽くする等燃費向上の徹底を図る。
化学物質	評価	現場の性質によって塗料の種類(溶剤系か水性系)が目標値に反映されてしまうが目標値を大きく上回る事が達成できた。
	是正	引き続きSDS確認の徹底しながら取り組みを継続していく。
一般廃棄物	評価	廃棄物の分別やりサイクル促進、ペーパーレス化の促進の成果で目標が達成できた。
	是正	引き続き社内全体で取り組み意識を徹底していく。
産業廃棄物	評価	産業廃棄物の排出量は現場の性質によって内容が大きく変動してしまう為、工事業者が主体的に縮減する余地はないが削減目標値を達成できた。
	是正	社内全体で取り組みを徹底していく。
水道	評価	現場の性質上水道使用量の増加が反映されてしまった。
	是正	水道使用量を把握、記録し、漏水をチェックする。引き続き節水を社内全体で意識する。

②次年度の環境経営目標

環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の環境経営計画

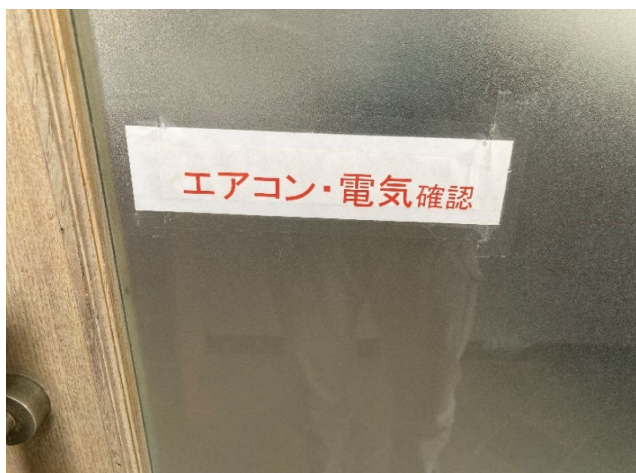
目的	区分	項目	責任者	活動項目	評 価		今後(次年度)の取組
					評価	内容	内容
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	照明	清水	① 不要照明は消灯	○	達成	習慣化
				② 残業時は必要箇所以外消灯	○	達成	習慣化
		空調	清水	① 温度設定夏26～28℃ 冬22～24℃	○	達成	設定温度の徹底管理
				② クールビズ、ウォームビズ	○	達成	習慣化
				③ 自然風の取入	○	達成	習慣化
			清水	① 退勤時のPCシャットダウン	○	達成	習慣化
	ガソリン・軽油	乗用車・トラック	清水	① unnecessaryな積み荷を無くし軽くする。	○	達成	引き続き社内全体で省エネ運転の意識の向上を図る。
				② タイヤ空気圧のチェック	○	達成	習慣化
				③ 過負荷、過積載の禁止	○	達成	習慣化
				④ 作業時以外エンジン停止	○	達成	習慣化
		高圧洗浄機・吹付機械	清水	① 作業時以外エンジン停止	○	達成	習慣化
				② 始業前点検	○	達成	習慣化
化学物質使用量の削減	塗装・防水材料	溶剤系塗料	清水	① 塗料、シンナー使用量の集計管理の充実	○	達成	継続
				② 溶剤系から水性塗料への変更の推進	○	達成	継続
廃棄物排出量の削減	事務所資材置場	紙	清水	① 用紙は再生紙を使用	○	達成	継続
				② 用紙のリユースの推進	○	達成	社内全体の意識の向上を図る
				③ FAXのPDF化	○	達成	協力会社にもFAXからPDF化をよびかける
	産業廃棄物	廃プラ・金属くず	清水	① マニフェストの発行	○	達成	継続
				② 混合廃棄物の分別と再資源化	○	達成	習慣化
水道使用量	上水	事務所	清水	① 節水の徹底	△	未達成	使用量の把握、記録使用量の社内全体の意識の向上を図る。
		現場	清水	① 高圧洗浄時節水フロート使用の徹底	○	達成	使用を徹底する

<備考>

評価判定：○(良くてきた) △(まあまあできた) ×(できなかった) -(実施が見送られた)

当社の取り組み

社内注意書きで社員の意識づけ



産業廃棄物の分別収集(空缶)



シンナーのリサイクル使用



一般ゴミ分別回収



グリーン購入



空気圧点検(月1)の呼びかけ



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

1) 環境関連法規等の遵守状況

評価日 2024/6/7
評価者 環境管理責任者 清水正勝

	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	市町のルールに従った分別と搬出及び業者委託	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第3条)」及び「富士市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例(第4条)」業者委託時は許可証確認(契約書作成が望ましい)	○
	産業廃棄物運搬業者並びに処分業者との委託契約	契約書の締結及び保存	○
	マニフェストの交付	A票(委託時、電子マニは3日以内)	○
	マニフェストの保管	A票～E票:5年間	○
	マニフェストの期間内返却の確認	B2及びD票:90日以内、E票:180日以内	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	6月30日までに許可権者に報告(電子マニ分は猶予)	○
浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○
	設置後の水質検査の実施	設置3ヶ月経過した日から5か月の間	○
	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	○
フロン排出抑制法	点検及び適正廃棄	3か月毎の簡易点検	○
化学物質排出把握管理促進法	第一種指定化学物質排出量の把握・管理	SDS(安全データシート)にて含有量の把握	○
悪臭防止法	悪臭発生の抑制	規制基準の遵守	○
消防法	少量危険物の貯蔵	取扱い基準の遵守	○
自動車Nox・PM法	使用車両の窒素酸化物、排出基準に適合	規制基準の遵守	○
リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	指定再資源化製品のリサイクル(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○

2) 違反、訴訟等の有無

- ・環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、環境関連法規等の違反、訴訟はありませんでした。
- ・過去3年間に於いて関係機関からの違反等の指摘はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2024年6月7日

1・見直し関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	☒	記録・文書として作成
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	作業の性質にもよるが電気、水道量の消費量増加
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒	節電、節水を社内全体で意識する
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	記録・文書として作成
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	別紙にて報告
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒	
	8	その他()	☐	

2・代表者による全体評価・見直し指示	・今回の運用期間の取組結果においては全体的に概ね達成しているが、購入電力が未達成となってしまったことは問題である。猛暑日が多かったことが反映されてしまうが電力消費の少ない機器へと適宜入れ替えを実施することで、改善していく。今後につきましては社内全体でこの取り組みに対する意識をより一層高揚させながら、継続し、目標達成に向かって努力していきます。 2024年6月7日 有限会社シミズ塗装 代表取締役 清水 文憲			
	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ ☒	
	2	環境経営目標	有・ ☒	
	3	環境経営計画	有・ ☒	
	4	環境に関する組織(実施体制含め)	有・ ☒	
	5	その他のシステム要素	有・ ☒	
	6	その他(外部への対応)	有・ ☒	